

# I. 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 25 年 10 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 25 年 7 月～9 月期の実績および平成 25 年 10 月～12 月期の見通しについて調査した。

## 2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス・諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

## 3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	17 社	56.7%
水産業部会	30 社	15 社	50.0%
機械工業部会	30 社	17 社	56.7%
建設業部会	30 社	17 社	56.7%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	21 社	70.0%
合 計	150 社	87 件	58.0%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

## Ⅱ. 概 況

－業況は前期よりやや改善、次期は悪化の見込み－

### 1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成25年7月～9月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比△8.1**と前回調査時の△14.7より**6.6ポイント改善**しました。グラフを見ると右上がりの傾向となっており業況が改善してきたことが窺えます。また、各業種の各業況値を鑑みますと、主に建設業の数値が業況・売上・採算等全てプラスで、公共工事(道路や橋などのインフラ整備事業)の受注が順調である事と、市内でも広域病院(平成27年3月以降完成)や北見信金紋別支店(平成26年3月完成)の移転新築工事、旧道都大学の一部寮などの改修工事、興部町の国保病院の建設など仕事が広く行き渡っている状況です。これから最盛期を迎える水産業がやや業況改善、機械工業も自動車整備業、自動車販売など少しずつですがプラス回復しているという声が聞かれます。商業・食品業についてはマイナス水準、観光サービス業・諸業もバラつきはありますがマイナス傾向が続いています。市内経済を取り巻く経営環境は業種の偏りで非常に好調な部分も窺える反面、商業食品業・観光・サービス業諸業などは依然としてやや厳しい業況が続いていると見受けられます。

部会別で前年同期比ベースをみると、商業食品業[前年DI値△50.0→今期△29.4]、水産業[前年DI値12.5→今期△13.3]、機械工業[前年DI値△27.8→今期△11.8]、建設業[前年DI値△26.3→今期29.4]、観光サービス諸業[前年DI値△38.1→今期△14.3]となりました。建設業は前述の通り、全ての水準で大幅なプラス回復で非常に忙しい状況となっております。資金繰りも良好のようで、借入の申込みも出てきていません。水産業は漁の最盛期を迎え、ホタテが順調である事と、秋鮭も単価が高く今年も順調な漁獲高で推移している事に加え、10月後半以降はイカが獲れだし、魚価も高い事から11月に入ってから活況な状況が続いており、次期見通しは少なからず良い結果になっていくものと思われれます。しかし、魚価の単価が高いことで水産加工場においては原価高騰で業績が厳しくなる状況と聞いています。特にカニを扱っている水産加工場ではズワイガニの原魚確保が難しく、更に原魚高の影響で利益がなかなか出ないという状況です。また機械工業は前年よりは改善しており、消費者の動向としては設備修理や設備購入に少しマインドが動いてきていると思われれます。商業食品業の業況は昨年よりも改善していますが、まだまだマイナス傾向は続いていくようです。観光サービス業・諸業においては、前年よりも業況は改善しているが徐々に観光方面などにも全体的に明るい兆しが見えてきていると聞いております。全体的には、昨年と比較すると改善している傾向にあると思われれますが、今後の動向に注目していきたいところです。

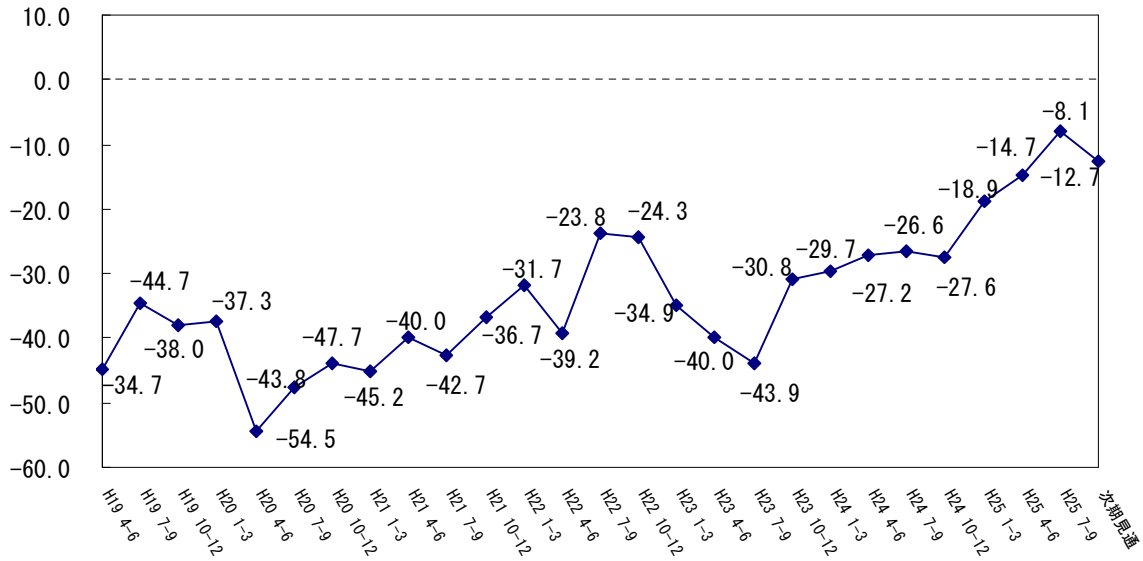
**来期(平成25年10月～12月)**については、今期と比べて**業況判断DIは、やや悪化傾向になる**との見通しが寄せられ、特に全体的なDI悪化の影響を直接受ける商業・食品業および観光サービス業諸業においては、これから繁忙期を迎える年末にむけて業況回復を期待し、消費者の財布の紐が緩むことを望みたいですが、まだまだ景況は厳しい状態となっています。業種の中でも建設業がプラス予定、水産業・機械工業は少し良くなる見通しを予測されています。

# 業況推移

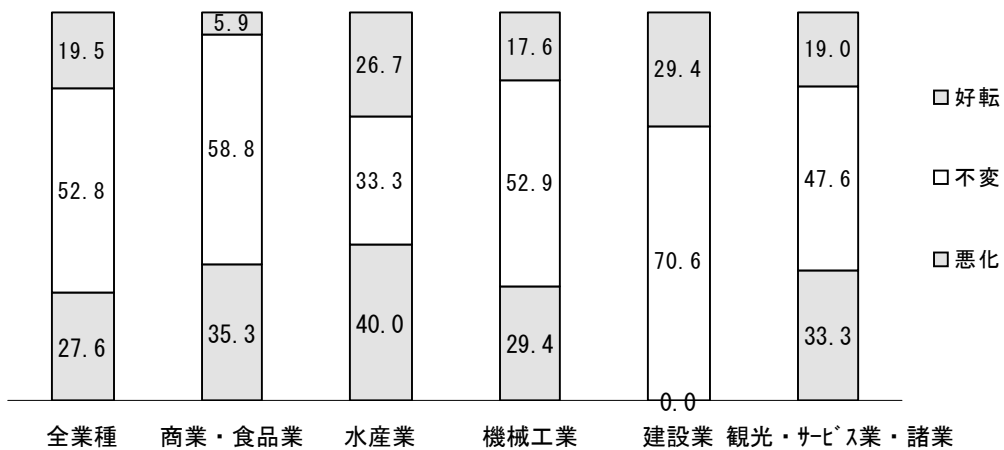
(全業種平均D・I)

前年同期比

(好転－悪化)



## 今期の業況 (前年同期比)



## ■部会別の動向

**【商業・食品業部会】**〔業況判断DI値(前年同期比)△29.4(前年DI値△50.0、来期見通し△29.4)〕

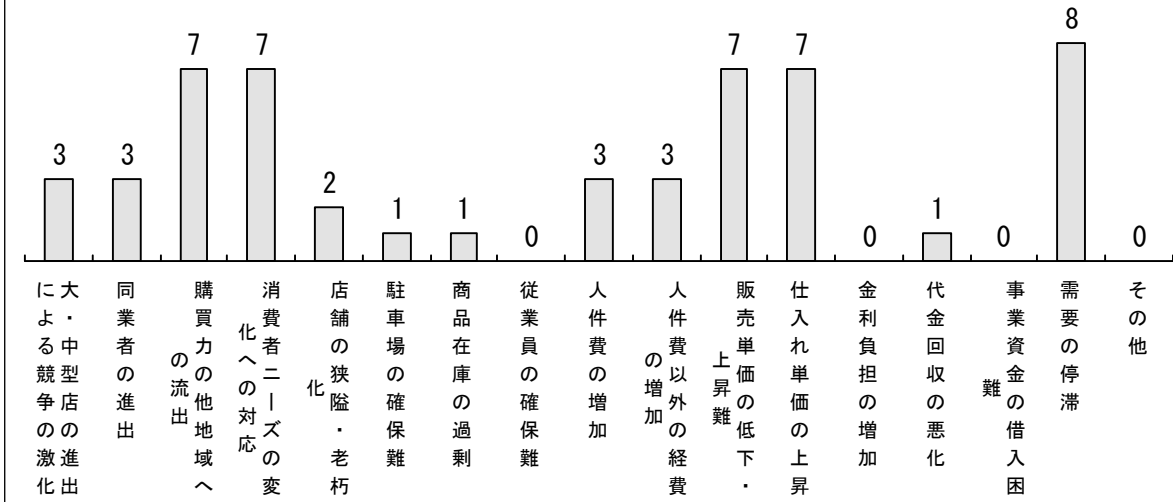
業況DI値(前年同期比)は、夏場の商戦時期にもかかわらずマイナス値となり厳しい状況でした。ただ前年の同じ時期に比べるとDI値は回復傾向にあります。全体的な業況では景気については回復傾向にあると思われましたが、なかなか消費者の財布のひもは固い状況で、消費マインドの回復はいまだに見えてきません。来期見通しは、年末商戦にむけた回復を期待したいところです。

経営上の問題点としては「需要の停滞」「消費者ニーズの変化への対応」「販売単価の低下・上昇難」等を訴える声が多く寄せられています。

### 《業界の問題点等》

- ・ 客数減(小売)
- ・ 街に人を呼べる核となる施設が欲しい!!(氷紋の駅の他に...)。(小売)
- ・ 電気料金、最低時給、石油製品値上げで、前年の利益を維持するには売上を上げるしかなく、冬の除雪費も上がるのではと思う。(小売)

経営上の問題点（商業・食品業部会）



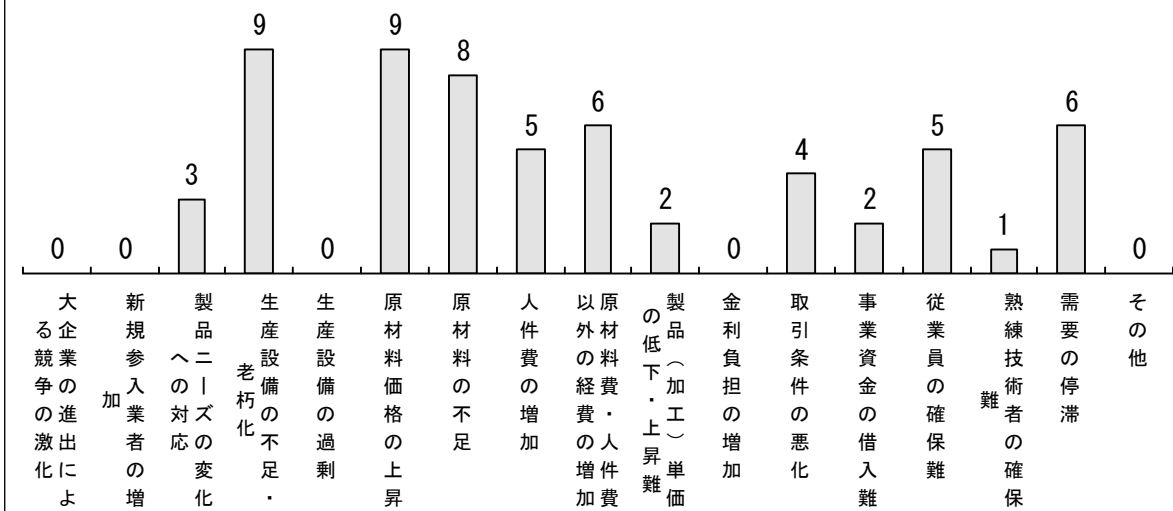
【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△13.3（前年DI値12.5、来期見通し△6.7）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、水揚げが本格化したため改善傾向できております。今期の水産業界については、ホタテが貝毒も出ず順調で今年は配当が高いと聞いています。サケの水揚げについては量も昨年並みと順調で魚価も高めのため、全体的に売上高は良いと聞いています。また10月に入ってから、スルメイカが1年ぶりの豊漁で魚価も高く、底引き底立て漁はこれまでの冴えなかった状況を一気に取り戻し、活気づいている状況になっています。冬を前に最盛期を迎える今後の回復はやや期待されており、来期の見通しについてはやや改善する見通しを立てております。しかし、水産加工業者はサケ等の魚価が高く、またロシアからズワイガニが入ってこない状況等が続いたため、原魚確保が困難な状況や原魚の仕入れにお金がかかったため、収支差し引きして経営内容は悪化するかもしれないと聞いております。経営上の問題点としては、「原材料価格の上昇」「生産設備の不足・老朽化」「原材料の不足」となっております。

《業界の問題点等》

- ・電気料金、ガソリン代など高く、それに比例し何でもかんでも値上がりしている。（水産加工）
- ・製品の売れ行きが悪化している。（水産加工）
- ・来年もズワイガニが入らない状況なら廃業するかもしれない。（水産加工）

経営上の問題点（水産業部会）

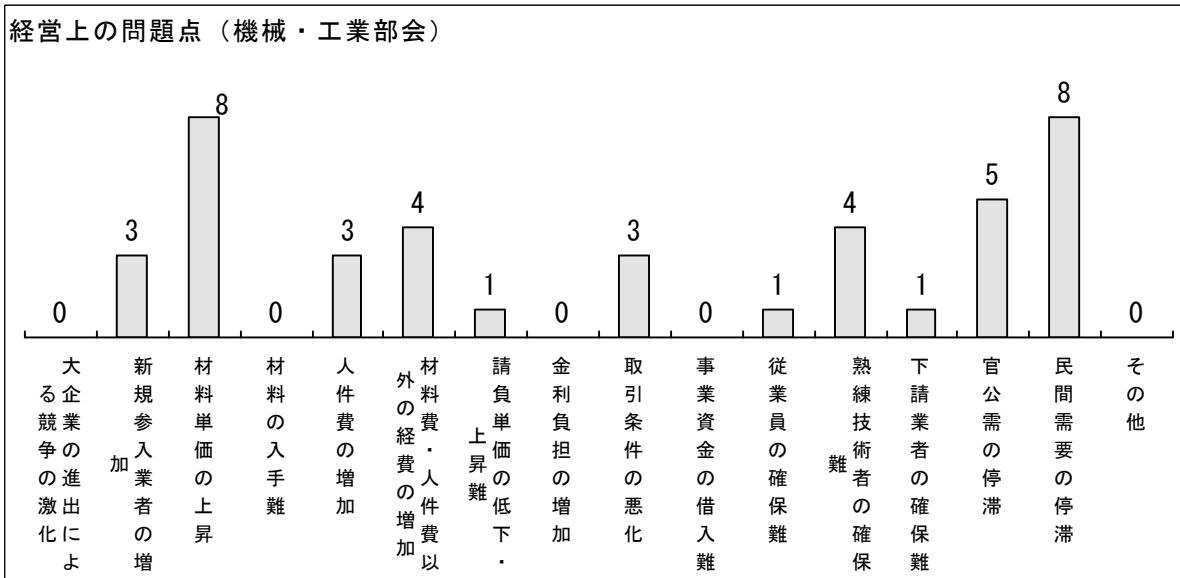


**【機械・工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△11.8（前年DI値△27.8、来期見通し △5.9）〕**

業況判断DI値（前年同期比）は、前年DI値に比べると改善傾向ではあるが、聞き取りをしている中では景気回復感がじわじわ浸透し、財布の紐が緩くなりがちで、消費税値上げ前に車両の購入に向かう動きが出てきている事から、自動車の整備関係業者も土木建設関係業者からの重機車両等の整備作業が徐々に増えてきていると聞いております。自動車業界は全体的に経営内容が安定してきており、消費税増税前の動きには敏感になっているようです。来期の見通しについてはDI値△5.9とやや回復していくとの見通しです。経営上の問題点として、「民間需要の停滞」や「材料単価の上昇」「官公需の停滞」を訴える声が多く寄せられている。

**《業界の問題点等》**

- ・ 殆どの用紙が11月から年末にかけて値上がりします。（印刷業）
- ・ 熟練技術者の確保難（鉄工業）
- ・ 原材料仕入のコスト、他の資材もジリ高。更に9月より電力料金のupもあって、製造コストを押し上げ採算は厳しくなってきました。（木材製造業）



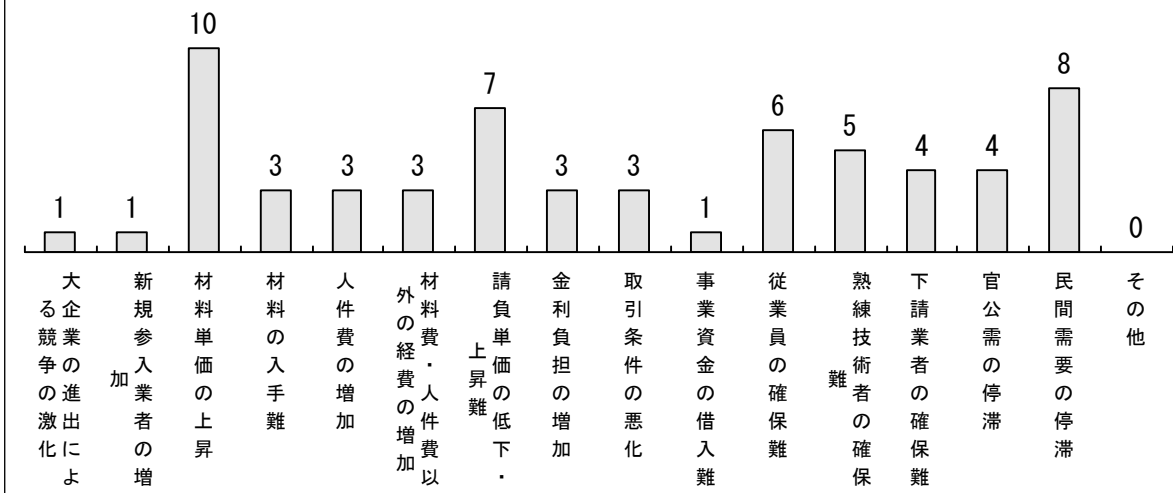
**【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）29.4（前年DI値△26.3、来期見通し 5.9）〕**

業況判断DI値（前年同期比）は公共工事や市内建設受注工事などで大幅なプラス回復をしております。道路工事や橋の改修工事、26年3月完成予定の北見信金紋別支店と再来年完成予定の広域紋別病院の移転新築工事、旧道都大学寮一部改修工事など大きな仕事が入ってきており、忙しい状況が続いております。来期の見通しはプラス回復ですが大きな改善とまではいかない状況が続いていくと思われます。経営上の問題点としては、「材料単価の上昇」「民間・官公需の停滞」「請負単価の低下・上昇難」、「従業員の確保難」などを訴える声が多く寄せられています。

**《業界の問題点等》**

- ・ 人材が育たないまま辞めてしまう。若者はなかなか汚い仕事をしたがらない。（建設）
- ・ 人が足りない（土木建築）

経営上の問題点（建設業部会）



【観光サービス業・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△14.3（前年DI値△38.1、来期見通し△23.8）〕

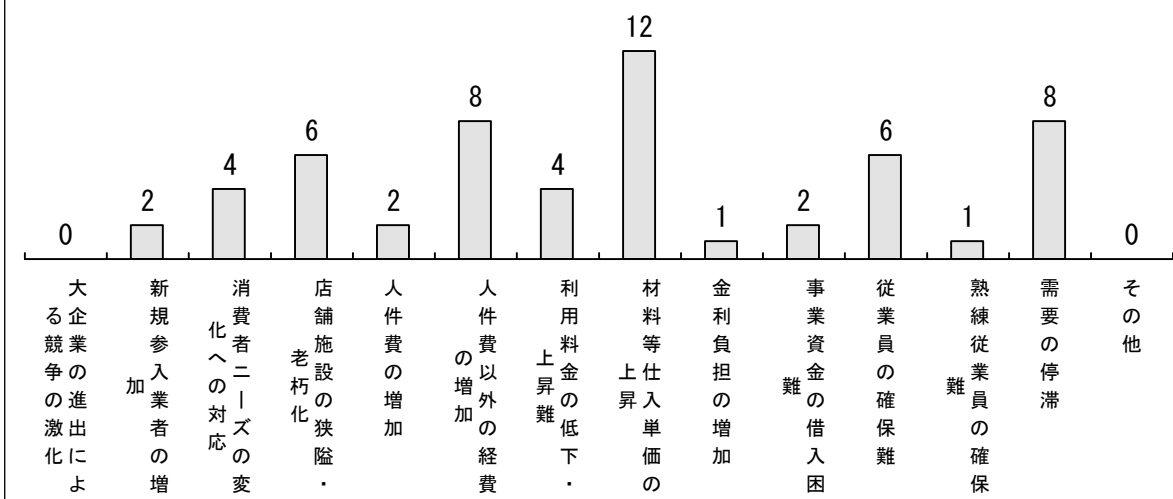
業況判断DI値（前年同期比）は、前年DI値に比べると大きく改善傾向となっております。来期は年末にむけて回復したいところですが、見通しは悪化傾向となっております。飲食業界からは外食する人が徐々に増えており、少しずつ売上が増えてきていると聞いております。反面、食材等の仕入面では小麦粉製品・油類を中心に調味料や一部の食材などが全体的に2割程度アップしているようで、売上微増に対して仕入増となり、トータル的には収支が改善するところまではいかないかもしれないという現状のようです。また、観光面では少しずつですが外国人観光客が戻りつつある事と、日本人観光客のバスツアー等が人気でほぼ満席の状態が続いていると聞いております。少しずつですが財布の紐が観光娯楽に緩くなりつつあるのではないかと思います。

経営上の問題点としては、「材料仕入れ単価の上昇」「需要の停滞」「人件費以外の経費の増加」等という声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・人口の減少（飲食業）
- ・消費税の対応（飲食業）
- ・電気、ガスなどの光熱費、車両費などの売上に対する割合が前年同期、今期に3ポイント位上昇して、負担増となり、純利減となっている。（飲食業）

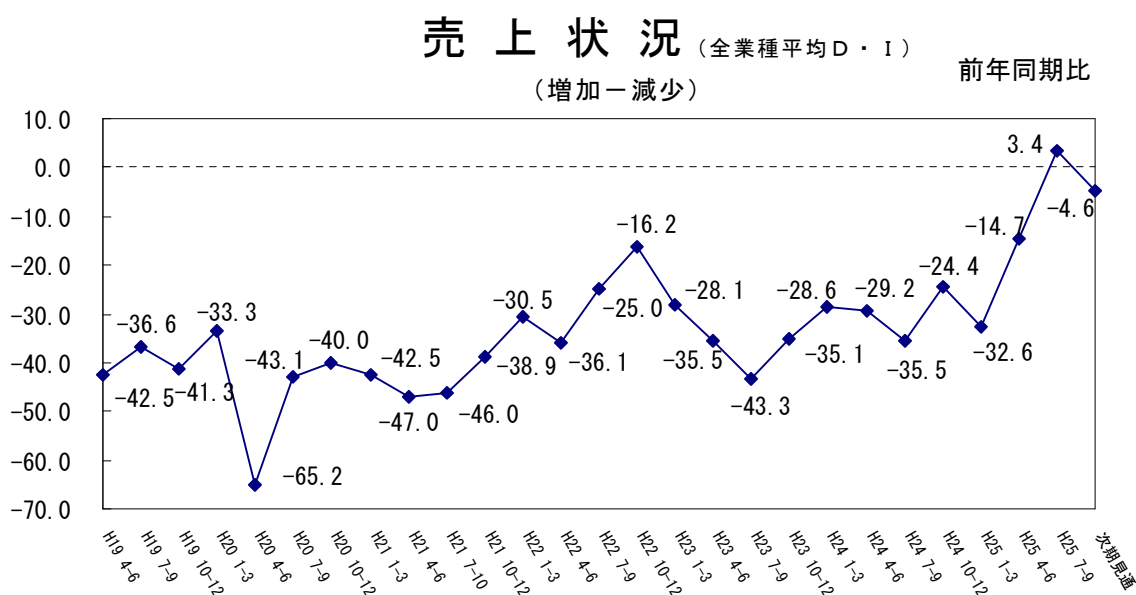
経営上の問題点（観光・サービス業・諸業部会）



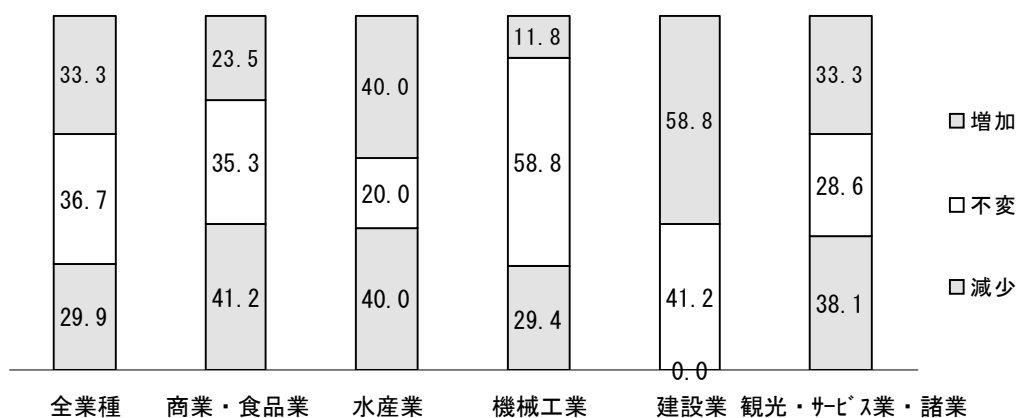
## 2. 今期の動向

### (1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成 24 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の売上高）



### 今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均で DI 値 **3.4**〔前年調査時（平成 24 年 7～9 月期△35.5）より 38.9 ポイント大幅な改善〕

[部会別 DI 値] 商業・食品業〔前年△68.8→△17.6〕、水産業〔前年△12.5→0.0〕  
 機械工業〔前年△55.6→△17.6〕、建設業〔前年△31.6→58.8〕  
 観光・サービス業・諸業〔前年△33.3→△4.8〕

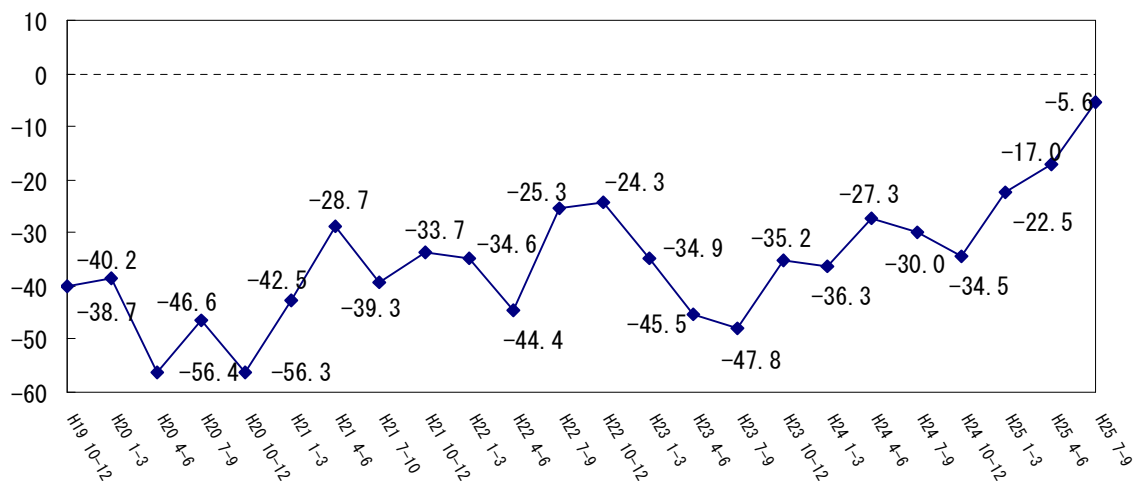
(2) 今期の採算

【前年同期比】（平成 24 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の採算水準）

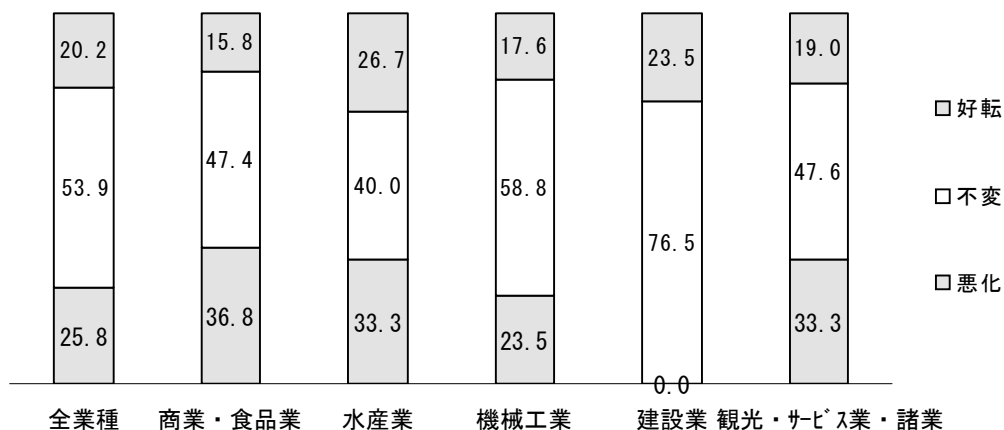
### 採算推移 （全業種平均 D・I）

（好転－悪化）

前年同期比



### 今期の採算（前年同期比）



全業種平均で DI 値△5.6〔前年調査時（平成 24 年 7～9 月期△30.0）より 24.4 ポイント大幅改善〕

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前年△56.3→△21.1〕、水産業〔前年 12.5→△6.7〕  
 機械工業〔前年△38.9→△5.9〕、建設業〔前年△26.3→23.5〕  
 観光・サービス業・諸業〔前年△38.1→△14.3〕



### (3) 今期の資金繰り

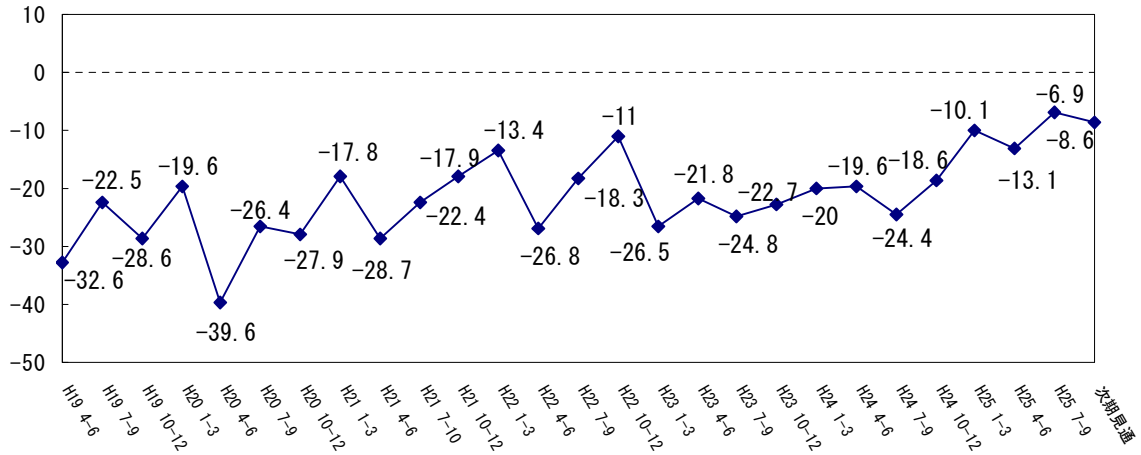
【前年同期比】（平成 24 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の資金繰り）

#### 今期の資金繰り

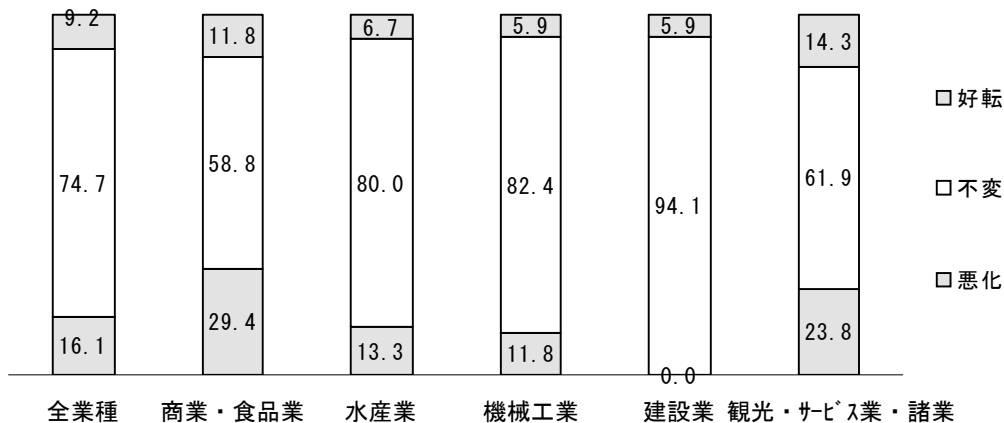
（全業種平均 D・I）

前年同期比

（好転－悪化）



#### 今期の資金繰り（前年同期比）



全業種平均で DI 値△6.9〔前回調査時（平成 24 年 7～9 月期△24.4）より 17.5 ポイント改善〕

〔部会別 DI 値〕

商業・食品業〔前年△25.0→△17.6〕、水産業〔前年△18.8→△6.7〕

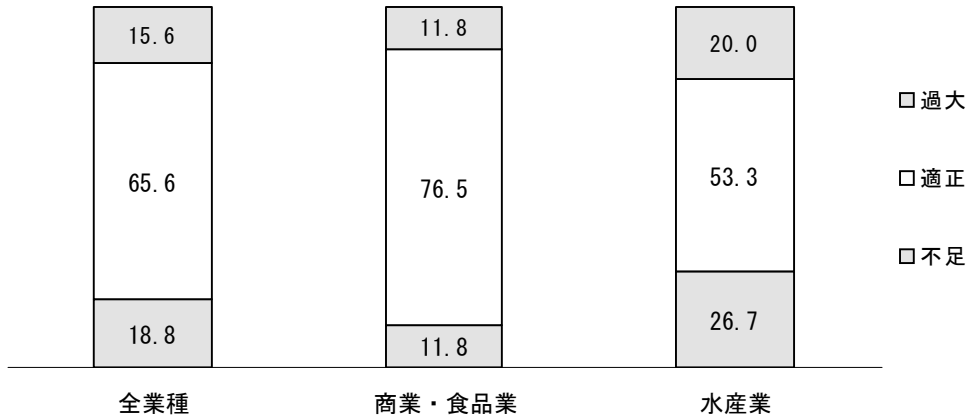
機械工業〔前年△35.3→△5.9〕、建設業〔前年△15.8→5.9〕

観光・サービス業・諸業〔前年△27.8→△9.5〕

#### (4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成 24 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



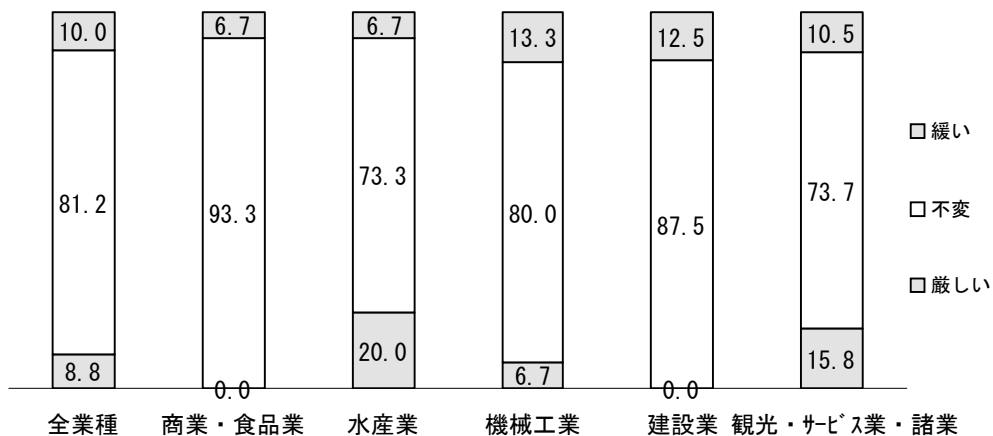
全業種平均で DI 値  $\Delta 3.2$  [前回調査時（平成 24 年 4～6 月期  $\Delta 9.3$ ）より 6.1 ポイント在庫減少]

[部会別 DI 値] 商業・食品業 [前年  $\Delta 6.3 \rightarrow 0.0$ ]、水産業 [前年  $\Delta 12.5 \rightarrow \Delta 6.7$ ]

#### (5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】（平成 24 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

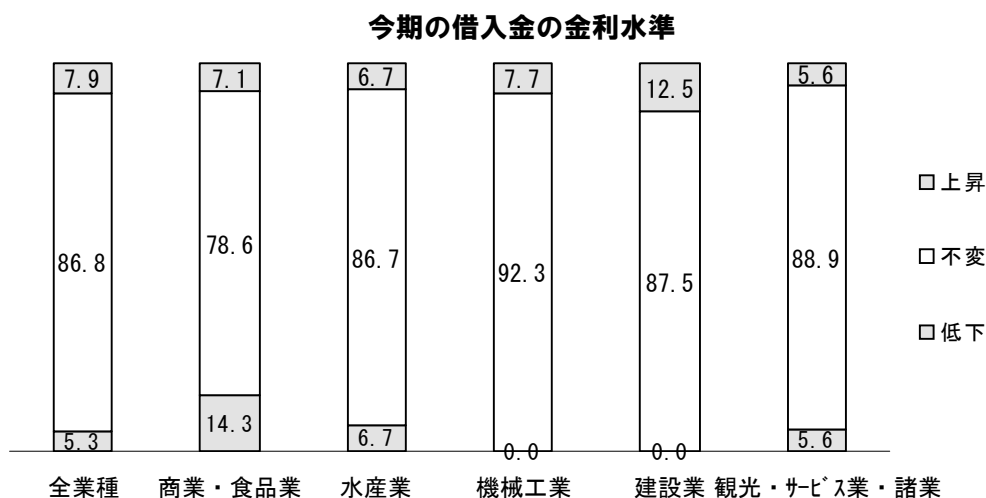
今期の金融機関の貸出姿勢



全業種平均で 1.2 ポイント。商業食品業 6.7 水産業  $\Delta 13.3$  機械工業 6.7 建設業 12.5 観光サービス業諸業  $\Delta 5.3$

## (6) 今期の借入金の金利水準

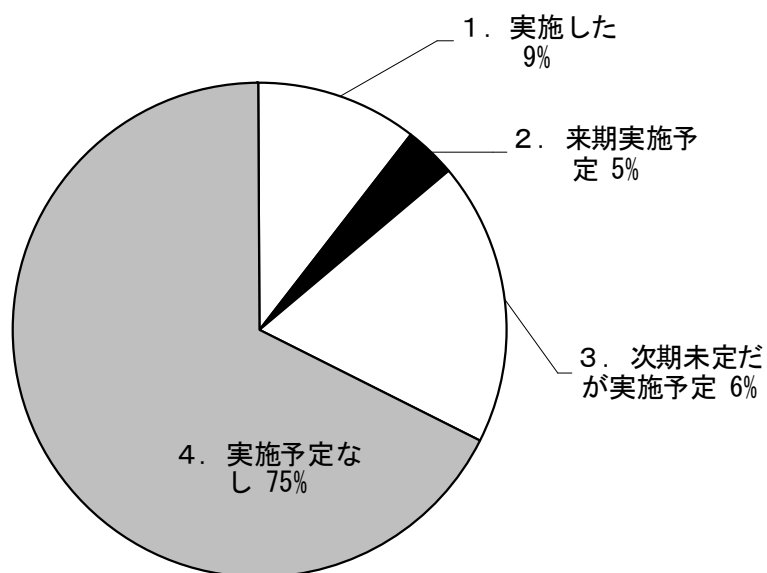
【前年同期比】（平成 24 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



## (7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

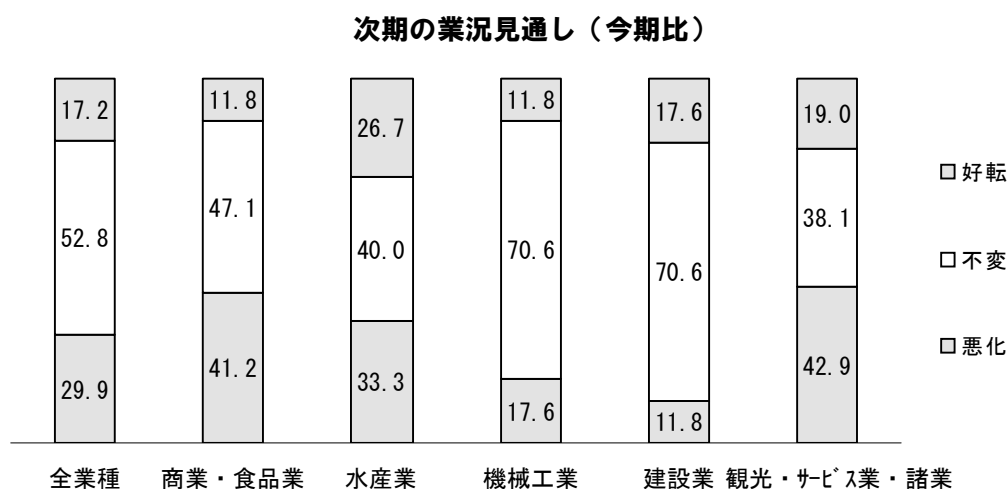
### 設備投資の実施状況



### 3. 来期の見通し

#### (1) 来期の業況見通し

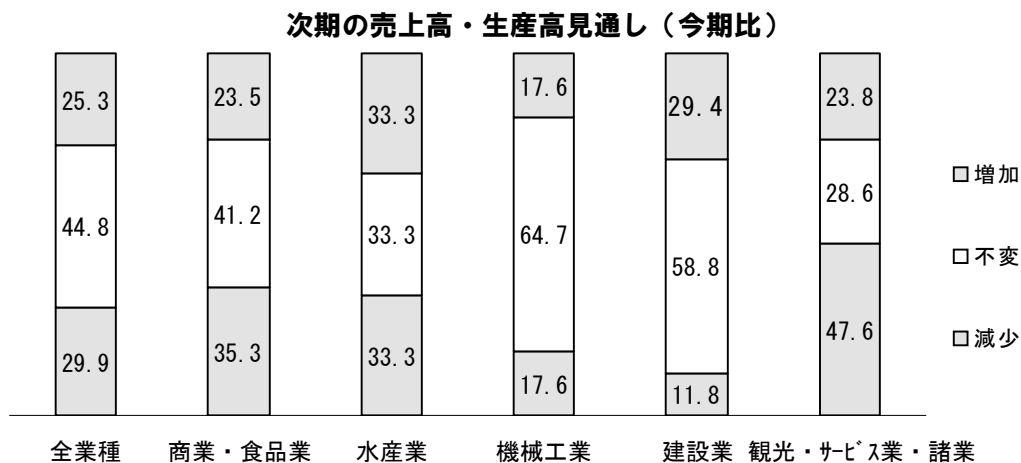
【今期比】（平成 25 年 7 月～9 月期の水準と比較した来期の業況見通し）



全業種平均 DI 値 $\Delta$ 12.7 [今期の業況 $\Delta$ 8.1 より 4.6 ポイント悪化の見通し]

#### (2) 来期の売上高・生産高見通し

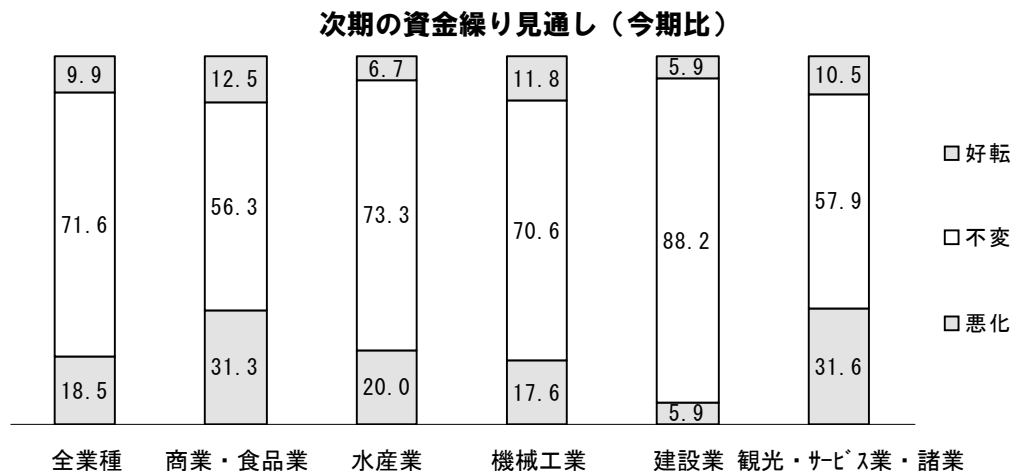
【今期比】（平成 25 年 7 月～9 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値 $\Delta$ 4.6 [今期の売上高・生産高 3.4 より 8.0 ポイント悪化の見通し]

### (3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 25 年 7 月～9 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値  $\Delta 8.6$  [今期の資金繰り  $\Delta 6.9$  より 1.7 ポイント悪化の見通し]

## Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス 業 ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	$\Delta 8.1$	$\Delta 29.4$	$\Delta 13.3$	$\Delta 11.8$	29.4	$\Delta 14.3$
	来期見通し	$\Delta 12.7$	$\Delta 29.4$	$\Delta 6.7$	$\Delta 5.9$	5.9	$\Delta 23.8$
売上 D・I	今期実績	3.4	$\Delta 17.6$	0.0	$\Delta 17.6$	58.8	$\Delta 4.8$
	来期見通し	$\Delta 4.6$	$\Delta 11.8$	0.0	0.0	17.6	$\Delta 23.8$
在庫 D・I	今期実績	$\Delta 3.2$	0.0	$\Delta 6.7$	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	$\Delta 5.6$	$\Delta 21.1$	$\Delta 6.7$	$\Delta 5.9$	23.5	$\Delta 14.3$
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	$\Delta 6.9$	$\Delta 17.6$	$\Delta 6.7$	$\Delta 5.9$	5.9	$\Delta 9.5$
	来期見通し	$\Delta 8.6$	$\Delta 18.8$	$\Delta 13.3$	$\Delta 5.9$	0.0	$\Delta 21.1$
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	1.2	6.7	$\Delta 13.3$	6.7	12.5	$\Delta 5.3$
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	2.6	$\Delta 7.1$	0.0	7.7	12.5	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。